

# 国の交付金等を活用して福島県等が行う風評払拭等に係る主な情報発信

令和7年5月16日

## 地域情報発信交付金

福島再生加速化交付金（福島定住等緊急支援【地域魅力向上・発信支援事業】）

【令和6年度交付決定額：8.56億円】

### 制度概要

地元産品や観光名所といった地域の魅力を発信するイベント等、福島の各自治体が企画・実施する風評払拭に向けた取組を支援。

#### 【支援対象地域】

福島県内の全市町村（59市町村）  
及び福島県

#### 【交付限度額】

福島県	2億円 ※
浜通り15市町村	2,500万円
その他の市町村	1,000万円

※ 県2億円に加えて市町村未使用分を更に2億円を上限に交付可能。

#### 【交付率】

事業費の1/2、残る地方負担分は震災特交を充当

### 取組事例

#### 福島県

- 都内で県産品販売ブースや移住に関するコーナー等を設置し、県の魅力を発信
- 都内にある県ゆかりのスポットをめぐるスタンプラリーを実施 等

#### 川俣町

- 「かわまた里山ツーリズム」モニターツアーを造成・催行
- 都内で町産の野菜の販売を中心とした町主催イベントを開催 等

#### 喜多方市

- 都内にある市ゆかりの店舗をめぐるスタンプラリーの実施
- 都内で観光物産イベントと市産食材を使用したメニューの試食会の実施 等

#### いわき市

- 市内の体験コンテンツの磨き上げと個人周遊型モニターツアーを実施
- 都内の飲食店を活用した「常磐もの」の 프로모ーション活動を実施 等

#### 浅川町

- 著名人を活用した情報発信媒体（電子雑誌、紙冊子、動画）を作成し、都内イベント等でPR

#### 檜枝岐村

- 都内でそば打ち教室と尾瀬ひのえまつフェアを実施
- WEBサイトやテレビ番組を活用した情報発信 等

# 移住・定住促進事業における情報発信

## 制度概要

福島県及び12市町村が創意工夫を活かして作成する計画に基づき実施する移住促進事業を交付金により支援

### 【支援対象地域】

福島県及び12市町村

### 【事業費上限額】

原則：福島県 8億円、市町村 4億円

補助率 3/4、

残る地方負担分は震災特交を充当

## 取組事例

### 全12市町村での情報発信

- 移住パンフレットの作成・配布や、Web・SNSを活用した情報発信。
- 都内で開催する移住フェアなどのイベント企画・出展を通じた移住を検討される方への情報発信及び相談対応。

### ふくしま12市町村移住支援センターでの情報発信

- 12市町村の移住に関する情報をワンストップで提供する「#未来ワークふくしま」を運用
- 移住パンフレットの作成・配布や、SNSを活用した情報発信。
- 都内で開催する移住フェアなどのイベント企画・出展を通じた移住を検討される方への情報発信及び相談対応。

# 農産物等戦略的販売促進事業

福島県農林水産業復興創生事業

【令和6年度予算額：39.53億円の内数】

## 制度概要

風評の払拭に必要な総合的かつ戦略的な販売促進活動の実施により、福島県産農産物等のブランド力を強化し、取引を活発化していくための取組を支援。

### 【交付対象】

福島県

### 【予算額】

福島県農林水産業復興創生事業の内数

### 【交付率】

定額

## 取組事例

### 県産農林水産物等の販売促進フェア

- 量販店や卸等と連携し、北海道、首都圏、関西圏、中京圏にて県産農林水産物の販促フェアを実施
- 卸売市場や量販店で県産農産物等の魅力発信するトップセールスを実施 等

### 県産米の消費拡大・販路拡大

- 県産米の魅力を発信するため「ふくしまの米」サイトをリニューアルし、県産米の情報発信を実施
- 県産米の理解を深めるための産地視察ツアーを実施 等

### 戦略的情報発信（テレビCM等）

- 「桃ならふくしま」など、「ふくしまを選ぼう」をコンセプトにCMを制作
- 全国の飲食店等約2,200店舗にポスターを配布 等

### 農林水産物マッチング

- 商談会、食の交流会、飲食店タイアップフェアによる県産農林水産物のPRを実施
- バイヤー向け県産農林水産物の産地ツアーの開催 等

### 畜産ブランドの再生

- 「福島牛」販促フェアや広告・イベント、メディアやSNSを活用したPR活動を実施
- ブランド牛「福柏花」デビューイベント開催による情報発信 等

### 海外販路回復・拡大

- 香港現地食品事業者向けの交流会を開催し、県産農林水産物等の魅力を発信
- 台湾のインフルエンサーを招へいし、SNS等による県産農林水産物の魅力発信や現地での企画展示の実施 等

# 地域の伝統・魅力等発信支援事業（補助）

（地域の魅力等発信基盤整備事業）

【令和6年度予算額：3.3億円の内数】

## 制度概要

福島第一原発事故に伴い避難指示等の対象となった12市町村を中心とした福島県の伝統・魅力等の発信により福島県に対する国民の関心を高めることを通じて、復興の現状に関して正確な情報が発信される基盤を整備し、これにより風評被害の払拭や交流人口の増加に向けた取組を促進し、福島県における民間企業の事業基盤の安定化を図ることを目的とする。

### 【対象者】

民間団体等（法人格の有無は問わない）

### 【スキーム】



### 【補助率・補助上限額】

	補助率 (中小企業)	補助率 (大企業)	補助上限額
県全域	2/3以内	1/2以内	3,000万円
12市町村等	定額 (10/10)	2/3以内	1,000万円

## 取組事例

### 大堀相馬焼 陶吉郎窯

- 浪江町で大堀相馬焼の窯を再開した事業者による伝統と製品の魅力発信。
- 食のイベントとコラボした陶器の展示会を開催。



### NPO法人 相馬救援隊

- 相馬野馬追を千年先に残していくプロジェクトを実施。
- 乗馬などの体験イベントを実施し、県内外に魅力を発信。



### いわき魚類（株）

- 「常磐もの」の海外の販路開拓を目指し、シンガポールの展示会に福島県産水産物の加工品を出展。
- 現地商業施設との取引も成立し、販路拡大の基盤を構築。



### （株）夜明け市場

- サッカーJ2「いわきFC」と連携し、「常磐もの」を使ったスタジアムグルメを開発。公式グルメとして採用。
- 県内外から訪れるサポーターにふるまい、スタジアムグルメとして定着。



# 福島県における観光関連復興支援事業

【令和6年度予算額：5.0億円の内数】

## 制度概要

福島県における観光復興を促進するため、同県が福島県観光関連復興事業実施計画に基づいて実施する

- ①滞在コンテンツの充実・強化
- ②受入環境の整備
- ③プロモーションの強化
- ④観光復興促進のための調査

を支援し、国内外から福島県への誘客を図る。

【補助対象】

福島県

【補助率】

浜通り区域のみを対象とする取組：  
8/10

浜通り+その他県内の区域を対象とする取組：7/10

## 取組事例

### ○台湾観光プロモーション事業

・現地窓口を設置し、**観光情報の発信や旅行会社等へ商品造成を働きかけ、観光誘客セミナー等を切れ目なく実施するとともに、旅行博等観光イベント等での情報発信**をおこなうことで、観光誘客を図る。



台湾で開催の旅行博に出展し福島の魅力PR

### ○ホープツーリズム運営・基盤整備事業

・世界で唯一の複合災害を経験した福島だからこそ体験することができるスタディツアーとして**教育旅行や企業研修を中心に活動**を行う。

・**個人観光客向け旅行商品販売や、各種WEBや旅行博での情報発信を行い**、さらなる誘客促進を図る。



JR双葉駅周辺でのフィールドワークの様子